

古事記1300年紀

古事記のふるさと田原本

田原本町内の古事記ゆかりの地

田原本町内には、太安万侶ゆかりの多神社をはじめとして、古事記に関する神社や伝承がいくつもあります。

鏡作神社は古来、鏡を製作する技術を持った工人集団が住んでいたといわれる鏡作郷に鎮座しています。そのため、鏡の祖として、ガラスメーカーや鏡業界、また鏡を大切にする美容師からあつい信仰を受けています。記紀に

記された「天の岩戸」の神話で、天照大御神に鏡を差し出した石凝姥命などが祭られています。なお、町内には八尾など4座、石見（三宅町）にも1座の鏡作神社があります。

また、古事記中つ巻には第7代孝霊天皇の宮として黒田盧戸宮が記されています。宮の地名としては町内で古事記に登場する唯一の地名です。

法楽寺は寺に伝わる由緒書によると、この宮跡に建てられたとされており、境内に石碑があります。また、孝霊天皇を祭る孝霊神社は、明治までは法楽寺の境内にありました。この宮で皇子として生まれた大吉備津彦命兄弟は、成人して吉備国の平定で勝利し、「桃太郎の鬼退治」のおとぎ話のモデルとして語り継がれています。

他にも、記紀ゆかりの神社として、村屋神社、池神社、津島神社などがありますので、ぜひ訪れてください。

町観光協会事務局

古事記 1300 年紀催し案内 (7 月)

第 2 回記紀・万葉歴史講座

日時 7 月 21 日(土)午後 2 時～

場所 町民ホール (町役場西側)

演題 考古学から見た古事記
～夢と琴の語り～

講師 辰巳和弘さん
(元同志社大学教授、古代研究者)

定員 150 人 (先着順/申込不要)

参加費 200 円(観光協会会員は半額)

町観光協会 ☎ 33-4560



▲黒田盧戸宮跡石碑



▲鏡作神社の鳥居



イメージ：奈良県ホームページ「記紀・万葉でたどる奈良」より

今月の表紙

みんなで集まって趣味を楽しむ



老人福祉センターで行われている5つの高齢者教室。これは、生きがいをもって健康に過ごせるように開講されているものです。そのうちのひとつ、ちぎり絵教室は11人が参加しています。この日は、色紙にちぎった和紙を貼り付け、百日紅とハイビスカスを作りました。参加者たちは、和やかな雰囲気の中で会話をしながら趣味を楽しんでいました。

編集後記

■入庁して2ヵ月、初めて記事を書くことになりました。取材を通じて見たこと、聞いたこと、感じたことを自分の言葉でまとめる。言うだけならば簡単ですが、それを実際に行うのはなかなか難しく、先輩方の指導を受けながらなんとか書き上げることができました。次に書く記事が今よりも良いものとなるよう、精一杯がんばっていきます。昂

■昨年の6～9月に、県内で586人が熱中症で救急搬送され、2人の尊い命が奪われました。このように熱中症は命を落とす危険性があります。この夏は家庭で15%の節電が求められていることから、エアコンの控え過ぎによる熱中症の増加が懸念されます。今月号は、熱中症予防と節電の記事を掲載していますので、参考にしてください。永